

平成23年度川崎区区民会議第5回環境部会

日 時：平成24年1月13日（火）18時40分～20時30分

場 所：川崎区役所7階第3会議室

出席者（敬称略）

（1）委員 3人

木島千栄、秦琢二、鷺頭多加志

1 開会

事務局 <会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

■議題

1. 川崎区「区の花」「区の木」の活用した取り組みについて

（木島部会長）

区の花、区の木がだいぶ決まってきたようですが、本日はその活用方法について検討したいと思います。その前に事務局より選考の経過についてご報告ください。

（金子課長）

※区の花、区の木の選考経過報告。

（木島部会長）

ありがとうございます。それでは区の花、区の木の活用の意見をいただきたいのだが、本日の資料1の方にもこれまで出された活用方法がだいぶ出されているようであるが。活用案として、花とか苗の配布、企業、学校、地域との連携、環境コンクールのポスターのテーマにしようとか。いかがでしょうか。

（鷺頭委員）

写真コンクールを一般公募でやったらどうでしょうか。絵だと大変なので、写真なら気軽に応募できるのではないのでしょうか。

（木島部会長）

活用案に出ていた以外に写真コンクールということ、いや、資料にでてますね。

(鷺頭委員)

写真ならすぐにできると思います、一つテーマを決めてやればよいのではないのでしょうか。大人になって絵を描くということはなかなかできない。そういえばロゴのキャッチフレーズみたいところをつけることをやっているところがあるが、川崎区ではどうするのですか。

(金子課長)

今回はキャッチフレーズをつけることは想定していないが、キャッチフレーズをつければもっと使いやすいということであれば、そういうご提案をいただければ使えると思います。

(木島部会長)

活用の一つとして、花や苗の配布はやりやすいと思いますね。

(金子課長)

そういうのは、すでに検討されているのですが、考えてほしいのが銀杏と長十郎梨。これらを地域の活性化にどう活かせるのかということを考えていただきたいです。昔は長十郎梨があったのですが、だいぶなくなってしまったが復活させたいという声もあるんですね。

(木島部会長)

長十郎梨を植えているところはあるのですか。

(金子課長)

学校には結構あって、あと神社とか。

(鷺頭委員)

長十郎梨は、実を収穫できるのですか。

(金子課長)

多摩区の方では収穫できるのですが、川崎区の方では難しいようです。ほとんど店頭に並ぶことはないようです。

(木島部会長)

長十郎梨のイベントをやってますよね。

(金子課長)

それが小学校でやっているイベントです。小学校にはいくつか植わっているようです。でもなかなか実がならないようです。川崎区発祥である長十郎梨をどう活用するか。

(木島部会長)

銀杏は、銀杏並木があるからイベントでやれそうであるが。銀杏の葉をつかうとか。

(鷺頭委員)

ぎんなんですよ。

(木島部会長)

写生とか銀杏の葉で絵を描くとか。銀杏の葉はたくさんあるので何かに使えると思います。あと企業との連携ですね。川崎の名産品に区の花、区の木をラベルにして貼るとか、紙袋にするとか。他に考えられることありますか。

(鷺頭委員)

ハローブリッジとか目立つところに花や木のイラストを描いてもらうとか。

(金子課長)

改修のときに書いてもらうと良いと思いますね。あと工事中の柵に描いてもらうとか。

(勝野課長補佐)

2名なので、次の議題に行った方がいいですかね。

(金子課長)

部会長、次の議題に行きましょう。

(木島部会長)

わかりました。次の議題をお願いします。資料の説明をお願いします。

2. 第3期川崎区区民会議最終報告書（案）について

(勝野課長補佐)

※資料説明

(木島部会長)

ありがとうございました。

(金子課長)

補足なのですが、空欄の部分の整理は、事務局で作成しますが、まとめについてフリート
ーキングでやっていただきたいと思います。

(木島部会長)

2年間やってきていろいろな意見が出されていると思うが、報告書骨子には、ほとんど載っていると思います。驚頭委員いかがでしょうか。

(驚頭委員)

環境ポスターコンクールのポスターをほとんどまちなかで見たことないんですね。私の娘が小さいころに参加した別のコンクールで優秀作品が京浜急行の電車の中に載せてくれたことがあります。それを娘と一緒に見に行ったことがあります。あと、パトカー、消防車にラッピングするとかできないのですかね。実は私は小さいころに載せてもらったことがあるんです。本当にうれしかったですね。

(木島部会長)

お金を掛けずにできませんかね。

(金子課長)

お金を掛ければなんでもできるのですが、続かなくなってしまうのですね。地域の中で工夫して広められないかなと思っています。

(驚頭委員)

市営バスでもお金かかるのですか。

(金子課長)

市営バスは、企業会計なのでお金かかるんですね。区役所や市役所だからといって無料ではできないのです。

(木島部会長)

自分のお子さんがポスターコンクールに関われば大人も興味をもつのでしょうか、その他の人には広がらないですね。

(驚頭委員)

そういう意味では、一般公募のような写真展が有効ではないでしょうか。たしかに子どもがいないと興味が湧かないですね。

(勝野課長補佐)

ここの振り返りのところですが、区民会議で検討されることは、市民が主体的になるとか市民と行政が協働で取り組むとか、そういうキーワード的なものが出れば良いのかなと思います。

(鷺頭委員)

子どもたちのポスターコンクールと一緒に写真コンクールを開催し一般公募でやったらどうですかね。このポスターコンクールは6年生対象でしたよね。他に描きたい人はいないのですか。

(金子課長)

今は、学校にお願いするという形でやっているのです。だから小学生が出てくるのです。

(鷺頭委員)

それを一般公募でやったらどうですかね。

(金子課長)

一般公募だと興味がある人しか参加しなくなると思います。そのために地域でどう根付かせるかが重要なのではないのでしょうか。

(鷺頭委員)

最初は興味ある人で良いのではないのでしょうか。

(金子課長)

最初はそれで良いが、地域でどう地域緑化を進めるかということ区民会議で検討していたらよいかではないのでしょうか。

(鷺頭委員)

より多くの方が参加することは理想だが、それは難しいですね。

(金子課長)

そのために写真コンクールというのも良いと思いますが、写真の方が飛びつく人が多いのか、ポスターの方が良いのですか。

(木島部会長)

多くの人に飛びついてもらうことが理想だが、難しいですね。

(金子課長)

まとめは、問題提起でも良いと思います。多くの人に飛びついてもらう、興味を持ってくれることが重要だということを提起してもらうことでも良いと思います。

(木島部会長)

あとそのポスターがどのように活用されるか、多くの方の目につくかも検討する必要がありますね。

(金子課長)

そういう意味では、小学生は描いた経験が将来に環境意識の向上につながりますが、公募で応募した人たちが、意識向上につながるかどうかということもあります。逆に興味がある人だけが応募してくるということになってしまうと思います。

(鷲頭委員)

そこで、興味がない人も興味を持ってもらうことを考えるのか、興味がある人をより多く探すのかどちらなんですかね。それによってやり方が違います。

(勝野課長補佐)

それでは、まだ説明していない「区の花・区の木」の部分について説明してよろしいでしょうか。

(木島部会長)

お願いします。

(勝野課長補佐)

※資料説明

(木島部会長)

ありがとうございます。今説明がありましたが、調査や審議を進める中で見えてきたものを振り返りたいと思いますが、秦委員は何かありますか。

(秦委員)

せっかくみなさんのご協力が決まったのでいかに認識してもらうことが重要です。中原区ではパンジーと言うことであるが、大々的にPRしている割にはあまり区民に浸透していないようです。川崎区ではどんなふうにして浸透させるか。具体的な方法はわかりませんが。

(驚頭委員)

振り返りさせていただくと、選考委員会では本当に勉強になりました。いろいろな方がいろいろな話を聞けました。そういうのを経てこの結果だと思のですね。みんないろいろな思い入れがありました。

(木島部会長)

実際に花を植えてみないと花の良さはわかりませんからね。

(金子課長)

花言葉も選考の理由に挙げられていましたね。

(秦委員)

区のPTA協議会も40周年なんですけど、区の花・区の木が決まったことなので、小学校で花でも植えるかという話がでています。このために道路公園センターなどから種や苗をもらうことは可能なんですかね。宮前小学校では、花の回廊をつくろうというところまで出てるんですね。

(勝野課長補佐)

学校の数は限られていますから、可能性はあるのではないですかね。

(金子課長)

行政がやってくださいというのものもあるのかもしれませんが、地域で盛り上げていただかないと。

(秦委員)

あと花を育てたら写真をとってコンクールまでいかないけど表彰するというのがありますね。

(木島部会長)

ひまわりは種を配るのは可能ですが、木の活用が難しい。たとえば、常に目に触れるようなラベルを作成するとか、一般の方は目に触れる方法、たとえば企業に協力を求めるとか。

(秦委員)

銀杏や長十郎梨は、育てるのはたやすいのですか。

(金子課長)

銀杏や長十郎梨は、難しいですね、銀杏や長十郎梨については、シンボリックに使ってもらおうということが選考委員会で検討されました。長十郎梨は、川崎区発祥だよということを知ってもらおうという意味です。今、まちづくりクラブも緑の活動をしていて、今後は区の花、区の木についても協力していただこうと思っています。

(木島部会長)

区の発行物に区の花・区の木イラストをプリントするのではどうでしょうか。たとえば封筒にイラストをプリントするのはどうですかね。

(金子課長)

時期としては、夏から秋になってしまうかもしれませんが、窓口封筒というのがある、そこにプリントしようと思っています。

(木島部会長)

サンキューコールなどにもいろいろプリントされていると違いますよね。いつも目に触れるようになると、写真コンテストなどに応募する人も増えるかもしれませんし。

(勝野課長補佐)

ひまわりは、鉢やプランターで植えるのは限度がありますが、そういう意味では公園とか学校に植えるのが良いのかと。また、ひまわりは時期が終わってからの処分が大変でそういう意味で学校に植えるのが良いかと思えます。そこから小学生のコンクールにつながると思えます。あとは先ほど話があったコンクールについて、何かご提案があれば。

(金子課長)

本日は出席者が少ないので、自宅に帰っていただいてから出してもらうことでも構いません。いかがでしょうか。その方が欠席されている方もお意見を出せるかと思えます。1週間程度以内にご意見をいただくと助かります。あと、報告書案の言い回しなどで気になることがあったら出していただけますか。

(木島部会長)

そうですね。本日は人数も少なかったので、1週間という期間をいただきましたので、みんなご意見を出してください。

3. その他

※かわさき自治推進フォーラム及び区民会議交流会の説明

※次回は、2月7日に開催することが確認された。

以上